

# ふくい女性ネット

# REPORT

ふくい女性ネットとは…  
県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、  
相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、  
講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。  
<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

女性リーダー育成プログラム「未来きりプログラム」も、10月から、いよいよ後半に入り前半で学んだビジネススキルを使って、企画からプレゼンテーションまでを実践で学ぶ「仮想プロジェクト」がスタートしました。  
今回は「企画の立て方」、「プレゼンテーション技術」、「企画提案作成」、「プレゼンテーション実践」の講義の様子をお届けします。

## 仮想プロジェクト① 「企画の立て方」講座



講師の(株)電通 林さん

平成 24 年 10 月 26 日（金）、約半年にわたる「仮想プロジェクト」がスタートしました。  
「仮想プロジェクト」は、5～6 人のグループで提示された課題の解決方法を企画立案し、プレゼンテーションまで実践するという5回シリーズの講義です。

今年度の課題は「**福井県の新たな観光プラン**」です。

まずは、(社)福井県観光連盟観光プロデューサーの中本秀史さんより、オリエンテーションとして、福井県の観光産業の現状と、抱えている課題についてお話いただきました。次に(株)電通林信貴さんにご講義いただき、**企画の3つのエッセンス**

は、「**現状**」「**目標**」「**企画**」であることを学びました。

さらに、班ごとに現在の福井県の観光の課題である「滞在時間が短くなっている原因」について話し合いました。「現状」を認識していく中で、どのような「目標」を目指すかや、解決策としての「企画」に発展していく班もあり、活発に意見が飛び交う時間となりました。

福井県民になって2年目の私は、まだ福井のことをよく知りません。この仮想プロジェクトを通して、企画を立てる力を身につけることはもちろん、福井の魅力をもっと知りたいと思いました。  
(担当 長谷川)



福井県の現状について話し合っている様子

## 仮想プロジェクト② 「プレゼンテーション技術」講座



講師の(社)日本経営者協会  
志磨さん

平成 24 年 11 月 9 日（金）、仮想プロジェクト②「プレゼンテーション技術」についての講座が行われました。講師は一般社団法人日本経営者協会の志磨宏彦さんです。

パワーポイントによるプレゼンテーションのテクニックとして、「**機材の使用**」・「**発表技術**」・「**進行の仕方**」を学びました。まず、会場規模に合わせて事前にプロジェクターやマイクチェックを行うこと、さらに、抑揚をつけ、間をとりながら話すことやボディランゲージを取り入れ、自信をもって一人ひとりに語りかけるように話すことを学びました。また、一方的にならないよう聞き手側の理解度を確認しながら進めることが大切だということも知りました。

スライド作成についても、文字の大きさ・文字数・イラストなど、見やすく理解してもらいやすい基準があることを学びました。これらの点を2月の発表の時に活かしたいと思いました。  
(担当 川)



プレゼンテーション実践中

### ふくい女性ネット（第5期）参加企業：ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイル  
株式会社エイチアンドエフ  
サカイオーボックス株式会社  
永森建設株式会社  
株式会社パケットデザ  
福井県商工会連合会  
学校法人福井仁愛学園  
福井経編興業株式会社  
松文産業株式会社

学校法人青池学園  
越前町  
株式会社信越マグネット  
日華化学株式会社  
株式会社ヒューマン・デザイン  
福井県赤十字血液センター  
株式会社福井新聞社  
福井鋳螺株式会社

アボットジャパン(株)勝山事業所  
江守商事株式会社  
株式会社SHINDO  
新田塚コミュニティ株式会社  
福井貨物自動車株式会社  
福井県  
福井信用金庫  
株式会社P L A N T

(株)ウララコミュニケーションズ  
株式会社オムキャスト  
税理士法人 たすき会  
ネットヨタ福井株式会社  
福井商工会議所  
福井県民生活協同組合  
国立大学法人福井大学  
北陸電力株式会社福井支店  
(33社、50音順)



## 仮想プロジェクト③「企画提案作成」



プレゼンの内容を話し合っている様子

平成 24 年 12 月 11 日（火）、班ごとに「福井県の新たな観光プラン」の企画提案内容を作り上げました。

企画の立て方やプレゼンテーション技術など、これまでの講座で学んだことを活かした打合せとなりました。

どの班も資料やパソコンを持ち込んで、課題点を整理したり、アイデアを出していき、内容の濃い時間となりました。すでに、当日使用するパワーポイント資料を作成している班もあり、仕事のスピードの速さに感心しました。

また、メンバー同志で話し合うことにより、福井県についていろいろな角度から考えることができ、**今まで気づけなかった福井県の魅力を再認識**できました。（担当 谷川）



## 仮想プロジェクト④「プレゼンテーション実践」講座



他の班の発表を真剣に聞く様子

平成 25 年 1 月 25 日（金）、仮想プロジェクト「プレゼンテーション発表会」（2 月開催）に向けての実践講座が行われました。

講師は「プレゼンテーション技術」で講義いただいた、一般社団法人日本経営者協会の志摩宏彦さん。実践練習ということもあり、会場も本番と同じユー・アイふくいのみ多目的ホールで行われました。

メンバーによる採点、プレゼンテーションが良かった班のランキング発表と、本番さながらの緊張感の中で行われました。



本番と同じ会場で発表の練習をするメンバーたち

実践練習が始まるまでは不安そうにしていたメンバーでしたが、発表が始まると真剣に耳を傾け、時には頷きながら聞いていた姿が印象的でした。

また、どの班も様々な切り口から観光プランの提案を行っており、20～30 代女性をターゲットにした班もあれば、家族をターゲットにした班もあるなど、**班独自の個性溢れる提案内容**となっていました。

発表後、講師からは、発表内容と発表者に対しての評価や、「オリジナリティを出すと良い」「前置きと提案との時間配分を考えること」など、本番に向けて具体的な改善点のアドバイスを受けてきました。私自身も、「アイコンタクトや抑揚をつけて話すことで、話す内容が相手にも伝わりやすくなる」とアドバイスを受け、上手く話すことではなく、相手に伝えることが大切だということを再認識しました。

最後のランキング発表では、嬉しい班、悔しい班とさまざまでしたが、今回の実践練習を通して、「更に磨きをかけ、本番ではベストな発表にするぞ!」と、メンバー一同決意を新たにしました。（担当 小竹）

### 【各班のテーマ】

- 1 班 福井県を知ってもらおう
- 2 班 ふくいの達人になろう
- 3 班 「行ってみたい!」がここから始まる
- 4 班 農ガール
- 5 班 KAMISAKE センス・オブ・ワンダー
- 6 班 10 年先 20 年先もずっと家族のそばにふくい

### 【プレゼンテーションが良かった班のランキング】

**1 位 2 班**      2 位 4 班      3 位 6 班

### — 編集後記 —

「福井県の新たな観光プラン」を企画・提案する仮想プロジェクトの講座がスタートしました。魅力あるプランをより論理的に提案できるように、メンバー同士が協力し、アイデアを出し合い、1 つの物を作り上げていく中で、日常生活ではなかなかできない体験ができ、少しずつですが、新たな知識を得ることができました。

それぞれのグループでどのような企画が提案されるのか、2 月の発表が楽しみです。（担当 市村）